

24. 庄内こども園保護者への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年（2016 年）6 月 2 日（木）19 時 45 分～

○場 所：庄内こども園

質問・意見等	豊中市からの回答
私は今、庄内西小学校区に住んでいる。新しい学校になると通学が遠くなる。通学路の安全も心配である。このことについてどのように考えているのか。	庄内西小学校区に限らず、通学距離が変わってくることは承知しています。例えば、庄内西小学校区から庄内南小学校へ通学するならば、最長距離で約 1.3km、千成小学校では約 1.6km と想定しています。距離を縮めることはできませんが、通学路の安全については、開校までに十分に対策を講じなければなりません。現段階はまだ案 1、案 2 をお示ししたところで、具体的に決まったわけではありません。通学路について、すべての地域の全ルートを設定はできていませんが、ある程度の検討は行っています。現在通学路として各小学校で使用している道は、安全についての検討はされていますが、今回の校区再編によって現校区を渡る経路、さらにそれによってこれまで通らなかった道を使用することになった場合の経路を考えなければなりません。庄内西小学校区でいえば、どのように阪急電車の線路を渡るのかを考えなければなりません。例えば、最勝寺付近の高架下、線路下を通る遊歩道、庄本の踏切等の経路が考えられます。それぞれの経路で安全対策をどうするのか、これは教育委員会だけでは解決できません。関係部局、関係機関等とも連携して検討していきます。検討するにあたっては地域の皆さんの知恵もお借りしたいと考えております。ご協力よろしくお願いします。
新しい学校になった場合、人数が増え、学校も大きくなる。学童保育に何か制限が発生するのではないか。	豊中市の学童保育制度（放課後こどもクラブ）は市の施策になります。今回の再編で確かに学校の規模は大きくなりますが、子どもの数でいうと、再編後の学校よりも児童数の多い小学校は今でも存在します。今回の再編にともなって学童保育がどうなるのか、という話は具体的には検討されていません。
この再編の話はだれがいつ決めるのか。	案 1 と案 2 のどちらにするのか、どのようなスケジュールで進めるのかといった計画を作るのは教育委員会です。その後、学校再編に伴う条例改正や予算措置を行う際に、市議会の審議、議決が必要となります。このことについて市民は意見を言えるのか、という指摘を以前受けたことがあるのでご説明すると、事務局は、説明会毎にいただいた意見は必ず記録しています。その内容をまとめて、教育委員会事務局内では内容を把握し、検討の材料にしています。今年の秋から冬頃に計画素案を提示して意見公募手続き（パブリックコメント）を実施する予定であり、その時も意見をお聞かせいただく機会があります。

私は案 1 がいいと思っている。小中一貫教育を是非進めてほしい。ところで、小中一貫教育をするといじめが減少する効果があると統計結果に示されていると言っていたが、なぜいじめ減少に効果があるといえるのか。具体的な効果が知りたい。	小中学生の交流が戦略的、効果的に可能になります。例えば、中学生が小学 1 年生に絵本の読み聞かせをする取り組みもできます。様々な交流行事、日々生活のなかでの関わり等を通じて、それぞれの自己肯定感、自己有用感が高まると考えています。また、小学校と中学校の先生が密に連携をとるので、子どもの必要な情報がスムーズにやり取りできる、中学生になっても小学校時代の先生が関われることで子どもの安心感が高まると考えられます。これらの総合的な取り組みの効果がいじめの減少として表れているのだと考えられます。
案 2 のメリットは何か。	施設面でゆとりがある点です。デメリットは校舎が離れていることです。
せんなり幼稚園はどうなるのか。	せんなりこども園について、2 月の説明会資料では注釈に「せんなりこども園も含めて将来予測される人口の減少に備え、中長期的な適正配置について検討を行っているところです」と記載しています。こども園を所管しているこども未来部では、公立こども園の適正配置について現在検討していますが、現段階ではまだどうなるのか決まっていません。そもそもこの案も決定したものではありません。ただ、敷地面積を考え、ひとつの想定としてせんなりこども園の土地を利用した案をお示ししているものです。せんなりこども園のことは庄内全体、豊中市全体の適正配置を検討しているこども未来部より、何かしらの方向性が今後提示される予定です。